

県内初の夜間中学 令和7年4月 湖南省に開設予定

「今からでも学びたい」
前向きな気持ちに応える

様々な理由により、義務教育を修了できなかった人や、もう一度中学校の学習内容を学びなおしたい人、また、本国の義務教育を修了していない外国籍の人などを対象とした夜間中学が、湖南省立甲西中学校に併設する形で開校します。令和7年4月の開校に向けて、湖南省と滋賀県が連携して準備を進めていきます。



- Q** 誰でも学べるの？
A 県内にお住まいで、義務教育を終える年齢(15歳)を過ぎた人が学ぶことができます。
- Q** 誰が教えるの？
A 中学校教員免許をもつ教員が教えます。

- Q** お金は必要？
A 授業料は無償です。ただし、一部の教材費などは必要です。
- Q** 授業はどれくらいあるの？
A 週5日間、授業があります。

「夜間中学」って何？

問合せ先 幼小中教育課 077-528-4665

交通事故にあわないように ご家庭で話し合う機会を！

新年度を迎えた子どもたちは、新しい通学路で慣れないことが多く、危険予知が遅れて交通事故に巻き込まれる危険性があります。

交通ルールを守ることや安全を確保することについて家庭内で話し合う機会をもち、交通事故にあわないように子どもへの声かけをお願いします。

また、子どもたちの交通安全のために、地域での見守り活動等にもご協力をよろしくお願いします。



横断歩道を渡る時は

- 渡る前に・・・
→車が来ていないか、**チェック!**
→車が止まったか、**チェック!**
- 渡っている間も・・・
→車が来ないか、**チェック!**

自動車だけでなく、バイクや自転車にも注意が必要です。



自転車に乗る時は

- 歩道は歩行者が優先です。歩行者に優しい運転を心がけるように子どもへお声かけください。
- 信号を守り、「止まれ」の道路標識があるところでは、必ず一時停止しましょう。
- 携帯電話・スマートフォンを使用しながら運転することは禁止です。
- イヤホンやヘッドホンなどで音楽を聴きながら運転することは禁止です。
- ヘルメットを着用しましょう。
- 夜間はライトを点灯しましょう。

問合せ先 保健体育課 077-528-4614

家庭教育 インターネットと子育て

進学や新学期がスマートフォンを手にするきっかけとなることが多いようです。最初に使用するルールを決めましょう。



小・中・高と年齢が上がるにつれて、子ども自身が少しずつ自分でルールを考え、守るようにしていくことが望ましいです。保護者は、子どもが自分自身でコントロールできるようにサポートしましょう。

「子育て・親育ち語り合い講座」と「家庭教育出前講座」

保護者の「いったい何をすればいいの!?!」という声にお答えします!リーフレット「インターネットと子育て」を使い、悩みを持つ保護者どうしが交流できる機会づくりにも取り組んでいます。



リーフレット「インターネットと子育て」のダウンロードはこちら!



インターネットと子育てについて学んだり、それぞれのエピソードを紹介し合うことで、保護者の子育てへの気づきや振り返りにつなげます! 令和4年度は、およそ500名の保護者等に学んでいただきました。

令和5年度も実施します!

問合せ先 生涯学習課 077-528-4654

過去のシリーズ人権教育は、

こちらをご覧ください。



問合せ先 人権教育課 ☎077-528-4592

娘が四歳の時、同じ年齢の子どもたちの多くは、習い事をいくつかしていました。わが家でも、娘により充実した休日を通わせたいという思いから、いろいろ調べて、体験レッスンに参加し、その中でも楽しそうにしていたピアノを習わせることにしました。

最初は喜んで通っていましたが、毎日のように練習しないと、なかなかついていけず、半年くらい経った頃、練習をとても嫌がるようになってきました。うまくできないので、やりたくないようでした。「練習したらできるようになる」「一緒にやろう」「一回だけやってみよう」「練習してからおやつを食べよう」「発表会で弾けなかつたら嫌やろ?」と、いろいろと声をかけ、練習をうながしました。安くない月謝を払っているし、途中でやめるとあきらめ癖がついてしまし、ついには何を言っても練習をしくなく、無理にやらせようとすると泣き出しました。また、私も練習させることに疲れてしまいました。「ピアノはどうする?」と聞く、「やめる」と娘は言いました。

ピアノの習い事をやめてしばらく経ったある日、何気なく娘を見ていると、今日もブロックの人形を休むことなくせっせと並べて何かつぶやいていました。「そうか。娘はこれが好きなんやなあ。」そこで、五歳の誕生日にブロックを買い足すことにしました。娘は大いに喜び、自分の遊びを広げていきました。「二歳の妹も緒になって、人形を並べて遊ぶようになり、「これからこの子たちは動物園に行く」「順番を待たないとダメだよ」「この子は「うち」など、娘たちの中で物語ができていたようでした。想像力を働かせながら遊ぶのはよいことだと思いました。

「こはんできたで」「お風呂に入るで。」と何度声をかけても全然聞いてくれないのは困りものですが、この遊びへの集中力はなかなかのものだと思いました。

成長していく中で、やめずにやり抜くことは大切だと思います。ただ、何が正解かはわかりませんが、今回は習い事をやめてよかったように思います。

仕事に忙しく、娘たちと向き合う時間を取りにくいですが、今どんなことに興味があるのか、何を考えているのか、目の前の姿をしっかりと見て、「コミュニケーション」を取り、親としてできることをしていきたいと思っています。

この四月に上の娘は年長になりました。どうも最近はお虫に興味があるようです。私は虫が苦手ですが、この週末には一緒に公園に行くと思っています。

シリーズ人権教育

「親子つなぐ子育て」



今回の「おすすめ本」

「自分らしく」ってどういうこと? 何のために勉強するの? なんだか暗くて、つらいことが多そうな世の中。幸福な人生を生きるために、考えておきたい16のテーマ。

子ども読書啓発冊子「本がいっぱいシリーズ」からの抜粋です。もっといろいろな本を知りたい方は、「におねっと」に掲載のデジタル版をご覧ください。

ほんがいっぱい
たのしいいっぱい

14歳の君へ どう考えどう生きるか 池田晶子



「14歳の君へ
どう考えどう生きるか」
中学生 池田 晶子 著
毎日新聞社

問合せ先 生涯学習課 ☎077-528-4650

「におねっと」子ども読書活動支援センターのHPはこちら



こちらは広告です。掲載内容は、本誌が推奨するものではなく、広告の内容に関する一切の責任は広告主に帰属します。

学研教室の先生募集中

指導未経験の主婦の方も多数活躍中! 育児経験が活かせるお仕事です

学研教室とは 子どもの「自分で学習する力」を育てます

基本理念 子どもたちに学ぶ喜びを、子どもたちに自信を、子どもたちに生きる力を

仕事内容 週2回、午後2時～6時頃の間、ご自宅またはお近くの貸し会議場で学研オリジナル教材を使って子どもたちに算数・国語を中心とした学習指導をして頂きます。

まずは、お電話またはインターネットでお問い合わせください。 ☎0120-889-100